



第3期生と集う野生動物のための森 [2013年整備前(左)と整備後(右)]

森の子コレンジャー活動も今年で第6期生を迎えました。5月に始動式を行い、6月の調査活動を終えて、改めて共に学び、協力しながら活動していきたいと感じています。

コレンジャーの活動は、自然に入り、自然について深く学ぶほかに、森林レンジャーが行う自然のための活動に協力することがあります。主な活動内容は、自然の状況でも変わりますが、調査や整備、森づくりなどです。

また、コレンジャーを卒業する子どもたちから「自分たちが活動した森が、その後どうなったか見てみたい！」

「活動を続けたい！」という声が挙がったため、森とのお付き合いを続ける「同窓会」が始まりました。

昨年12月には、第3・4期生合同同窓会でビオトープ整備を行いました。このとき、ビオトープを利用している生き物に出会うことができました。また、活動を引き継ぐ後輩たちが安全に歩く道の整備を行いました。8月には第3期生同窓会を予定しています。

第3期生の活動では、野生動物のための森づくりを目的に、人里離れた森で針葉樹を2本だけ切り倒して林床を整備し、広葉樹の実生苗みしょうなえを光の入った森に植樹しました。この苗は「自然を昔に戻す会」からいただき、1年間それぞれの家庭で育ててきたものです。同窓会では、植樹場所の下草刈りを行い、お弁当を持って山歩きをする予定です。

同窓会を始めた理由の一つに、あるとき中学生から「中学生になると自然に接する機会が減って悲しい」と言った言葉があります。私はこの時、勉強や部活で忙しかった中学時代を思い出しました。そこで私は、コレンジャー卒業生には、1年に数回だけでも「自然が好き」という思いを持った森林レンジャーや仲間との再会を楽しみ、自分たちが関わった自然と向き合う機会の中で、さまざまなことを感じるきっかけになってくれたらと願っています。成長した子どもたちや森の姿に再会し、共に活動できる日が待ち遠しいです！

(加瀬澤)